

京都市告示第 521号

地方公営企業法第40条の2及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、令和7年4月1日から令和7年9月30日までの期間における本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

令和7年12月8日

京都市長 松井孝治

令和7年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

当期の一日平均旅客数は、349千人となり、前年度同期に比べ9千人（2.6%）の増加となりましたが、令和元年度比では、▲27千人（▲7.0%）の減少となり、コロナ禍前には及びませんでした。

当期旅客収入（税抜）は10,720百万円で、平均乗車単価の改善の効果もあり、前年度同期に比べ367百万円（3.5%）の増加、令和元年度との比較でも、215百万円（2.0%）の増加となり、コロナ禍前の水準を上回りました。

また、お客様に市バス・地下鉄を快適にご利用いただくため、以下の取組を実施しました。

- 観光特急バスの運行（通年の土曜・休日ダイヤ）
- ゴールデンウィークをはじめとした、多客期における市バスの臨時増発の実施
- 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”の活動の充実
- 鉄道駅と主な観光地を結ぶ臨時バス「楽洛ライン」の運行
(4月26日、27日、29日、5月3日～6日)
- 春の観光シーズン、ゴールデンウィーク期間中における市バスから地下鉄への無料振替の実施（4月5日、6日、26日、27日、29日、5月3日～6日）
- 永観堂周辺での市バスの臨時経路変更の実施（5月3日～6日）
- 清水道・五条坂（南行）停留所の運用見直し（試行実施）（5月3日～6日）
- 祇園祭に伴う市バスの臨時増発の実施（7月17日、24日）

4～9月 一日平均旅客数(自動車)

(単位:千人)

	元年度 基準改定前	6年度	対元年度増減率 基準改定前 ※	7年度		
					対元年度増減率 基準改定前 ※	対6年度増減率
4月	413	361	▲12.2%	367	▲10.4%	1.7%
5月	369	348	▲6.1%	359	▲3.2%	3.1%
6月	364	339	▲6.8%	351	▲3.6%	3.4%
7月	362	340	▲7.6%	348	▲5.8%	2.3%
8月	351	319	▲9.8%	327	▲7.4%	2.5%
9月	396	336	▲13.0%	343	▲11.2%	2.1%
4～9月累計	376	340	▲9.4%	349	▲7.0%	2.6%

※ 元年度比は、「定期旅客数の計上方法(収益認識基準)の見直し」による影響を補正しているため、表中の お客様数の減少率とは合いません。

(参考) 運輸成績

〔 令和7年4月 1日から
令和7年9月 30日まで 〕

区分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	0	0.0%
営業キロ数 (km)	322,33	323,33	△ 1,00	△ 0.3%
在籍車両数 (両)	810	810	0	0.0%
使用車両数 (両)	127,538 (697)	127,786 (698)	△ 248 (△ 1)	△ 0.2% (△ 0.1%)
走行キロ数 (km)	14,765,227 (80,684)	14,955,564 (81,724)	△ 190,337 (△ 1,040)	△ 1.3% (△ 1.3%)
旅 客 数 (人)	63,843,872 (348,872)	62,277,375 (340,314)	1,566,497 (8,558)	2.5% (2.5%)
旅客収入 (千円)	11,636,542 (63,588)	11,231,523 (61,374)	405,019 (2,214)	3.6% (3.6%)

注 1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の（　）内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和7年4月 1日から
令和7年9月30日まで)

損失の部	金額	利益の部	金額
	千円		千円
自動車運送事業費用	10,567,237	自動車運送事業収益	12,607,895
営業費用	10,528,773	営業収益	11,966,261
保存費	883,883	運送収益	11,424,908
運転費	4,761,001	その他の収益	541,353
管理費	3,965,130	営業外収益	641,634
減価償却費	918,759	他会計補助金	194,213
営業外費用	38,464	府補助金	8,755
支払利息	22,814	長期前受金戻入	62,794
雑支出	15,650	その他の収益	375,872
当期純利益	2,040,658		
合計	12,607,895	合計	12,607,895

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	24,323,732	固定負債	10,991,379
有形固定資産	22,920,772	企業債	6,922,254
無形固定資産	78,424	引当金	4,069,125
建設仮勘定	123,536	流动負債	4,011,959
投資その他の資産	1,201,000	企業債	1,057,645
流动資産	7,282,457	未払金	1,334,168
現金預金	199,151	預り金	202,523
未収金	1,839,427	前受金	1,024,025
貯蔵品	45,040	仮受金	393,598
貸付金	4,600,000	繰延収益	1,556,930
前払金	211,460	長期前受金	1,556,930
仮払金	387,379	資本金	11,075,549
		資本金	11,075,549
		剰余金	3,970,372
		資本剰余金	753,577
		欠損金	3,216,795
合計	31,606,189	合計	31,606,189

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、311億5,103万7,446円です。

2 長期前受金収益化累計額は、59億5,835万469円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
建設企業債	千円 8,155,131	千円 0	千円 1,057,232	千円 7,097,899
特別減収対策 企業債	882,000	0	0	882,000
合計	9,037,131	0	1,057,232	7,979,899

令和7年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

当期の一日平均旅客数は、415千人となり、前年度同期に比べ13千人(3.2%)の増加となり、令和元年度比では、コロナ禍前とほぼ同水準[▲76人(▲0.8%)]となりました。

当期旅客収入(税抜)は13,550百万円で、平均乗車単価の改善の効果もあり、前年度同期に比べ463百万円(3.5%)の増加、令和元年度との比較でも、169百万円(1.3%)の増加となり、コロナ禍前の水準を上回ったうえ、前期として過去最高となりました。

また、市バスの混雑対策の一環として、地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散の取組を強化するとともに、お客様サービス向上と增收・増客のため、以下の取組を実施しました。

- 春の観光シーズン、ゴールデンウィーク期間中における地下鉄の臨時増発の実施
(4月5日、6日、26日、27日、29日、5月3日～6日)
- ゴールデンウィーク期間中における市バスから地下鉄への無料振替の実施
(4月26日、27日、29日、5月3日～6日)
- 「地下鉄・バス一日券」の販売強化(新幹線京都駅構内での販売等)(5月3日、4日)
- 祇園祭に伴う地下鉄の臨時増発の実施(7月15日、16日)
- びわ湖大花火大会に伴う臨時増発の実施(8月8日)

4~9月 一日平均旅客数(地下鉄)

(単位:千人)

	元年度 基準改定前	6年度	対元年度増減率 基準改定前 ※	7年度		
					対元年度増減率 基準改定前 ※	対6年度増減率
4月	421	409	▲2.1%	420	0.4%	2.8%
5月	423	423	▲1.0%	434	1.6%	2.4%
6月	418	415	▲0.6%	428	2.4%	3.1%
7月	415	417	▲3.3%	428	▲1.0%	2.6%
8月	393	374	▲5.9%	390	▲0.8%	4.4%
9月	422	374	▲11.0%	391	▲7.0%	4.3%
4~9月累計	415	402	▲4.0%	415	▲0.8%	3.2%

※ 元年度比は、「定期旅客数の計上方法(収益認識基準)の見直し」による影響を補正しているため、表中のお客様数の減少率とは合いません。

(参考) 運輸成績

〔 令和7年4月 1日から
令和7年9月30日まで 〕

区分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	0	0.0%
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	0.0	0.0%
在籍車両数 (両)	222	222	0	0.0%
使用車両数 (両)	43,668 (239)	43,966 (240)	△ 298 △ 1	△ 0.7% △ 0.4%
走行キロ数 (km)	10,448,970 (57,098)	10,170,490 (55,576)	278,480 (1,522)	2.7% (2.7%)
旅 客 数 (人)	75,963,643 (415,108)	73,577,489 (402,063)	2,386,154 (13,045)	3.2% (3.2%)
旅客収入 (千円)	14,854,943 (81,175)	14,344,456 (78,385)	510,487 (2,790)	3.6% (3.6%)

- 注 1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。
 2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の（　）内は、1日平均の数値である。
 3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和7年4月 1日から)
令和7年9月30日まで

損失の部	金額	利益の部	金額
高速鉄道事業費用	14,010,884	高速鉄道事業収益	18,466,769
営業費用	12,718,965	営業収益	16,136,193
保存費	1,823,209	運輸収益	14,821,076
運転費	1,166,482	その他の収益	1,315,117
運輸費	2,054,786	営業外収益	2,317,625
管理費	568,325	他会計補助金	821,421
減価償却費	7,106,163	府補助金	7,708
営業外費用	1,291,919	長期前受金戻入	1,476,753
支払利息	1,290,285	雑収益	11,743
雜支出	1,634	特別利益	12,951
当期純利益	4,455,885	固定資産売却益	12,951
合計	18,466,769	合計	18,466,769

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	399,669,673	固定負債	283,619,329
有形固定資産	398,666,606	企業債	261,370,303
無形固定資産	80,291	他会計借入金	17,154,520
建設仮勘定	867,176	府借入金	261,200
投資その他の資産	55,600	引当金	4,827,710
		リース債務	4,912
		その他固定負債	684
流動資産	2,966,379	流動負債	59,383,476
現金預金	476,878	企業債	24,623,309
未収金	2,168,412	他会計借入金	2,603,080
貯蔵品	2,556	府借入金	329,521
前払金	317,710	一時借入金	26,950,000
仮払金	823	未払金	2,577,423
繰延勘定	9,708	預り金	485,957
企業債発行差金	9,708	前受金	1,421,557
		仮受金	391,047
		リース債務	1,582
		繰延収益	95,464,657
		長期前受金	95,464,657
		資本金	258,783,977
		資本金	258,783,977
		剰余金(欠損金)	△ 294,605,679
		資本剰余金	8,555,096
		欠損金	△ 303,160,775
合計	402,645,760	合計	402,645,760

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,804億8,091万5,612円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、1,208億5,319万8,305円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
建設企業債	千円 98,318,079	千円 0	千円 4,318,809	千円 93,999,270
特例債	14,030,933	0	656,466	13,374,467
資本費負担緩和分企業債	51,805,143	0	1,119,788	50,685,355
資本費平準化債	114,743,080	485,000	186,560	115,041,520
特別減収対策企業債	12,893,000	0	0	12,893,000
長期借入金	21,290,822	0	942,501	20,348,321
合計	313,081,057	485,000	7,224,124	306,341,933

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は269億5千万円です。

令和7年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収水量は、前年度同期（8,011万立方メートル）に比べ25万立方メートル（0.3パーセント）減少し、7,986万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期（146億6,159万円）に比べ1,817万円（0.1パーセント）減少し、146億4,342万円となりました。また、当期総収益は、174億1,443万円となり、一方、当期総費用は、156億9,946万円となりました。

建設改良事業について、浄水場では、新山科浄水場導水トンネル築造工事、松ヶ崎浄水場粉末活性炭接触池築造工事等を施工しました。管路では、配水管及び補助配水管の布設及び布設替え（延長約13.5キロメートル）等を施工しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)

損失の部	金額	利益の部	金額
水道事業費用	15,699,465	水道事業収益	17,414,434
営業費用	14,072,127	営業収益	15,776,636
原水費	315,632	給水収益	14,643,420
浄水費	2,473,599	他会計負担金	27,487
配水及び給水費	2,341,245	その他営業収益	1,105,729
業務費	1,274,548		
総係費	687,512	営業外収益	1,516,051
減価償却費	6,677,012	受取利息	36,134
資産減耗費	302,579	長期前受金戻入益	967,399
		雑収益	512,518
		特別利益	121,747
営業外費用	1,627,338	固定資産売却益	121,747
支払利息及び企業債取扱諸費	560,081		
雜支出	7,544		
消費税及び地方消費税	1,059,713		
当期純利益	1,714,969		
合計	17,414,434	合計	17,414,434

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
固定資産	千円 347,179,603	固定負債	千円 148,752,944
有形固定資産	338,780,609	企業債	139,828,550
無形固定資産	1,209,312	PFI債務	2,564,702
投資その他の資産	7,189,682	リース債務	651,937
		引当金	5,707,755
流动資産	13,466,102	流动負債	17,684,545
現金預金	6,697,366	企業債	11,290,715
未収金	2,789,733	PFI債務	90,348
貯蔵品	591,130	リース債務	145,137
保管有価証券	133,780	未払金	3,666,166
仮払金	6,603	前受金	531,780
前払金	3,223,647	預り金	1,826,619
その他流动資産	23,843	預り有価証券	133,780
		繰延収益	37,638,463
		長期前受金	37,638,463
		資本金	146,463,747
		剰余金	10,106,006
		資本剰余金	984,540
		利益剰余金	9,121,466
合計	360,645,705	合計	360,645,705

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,134億5,869万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、587億1,371万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和7年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当 期 借 入 額	当 期 儿 還 額	期末未償還額
建設企業債	千円 155,554,877	千円 0	千円 4,435,613	千円 151,119,264
合 計	155,554,877	0	4,435,613	151,119,264

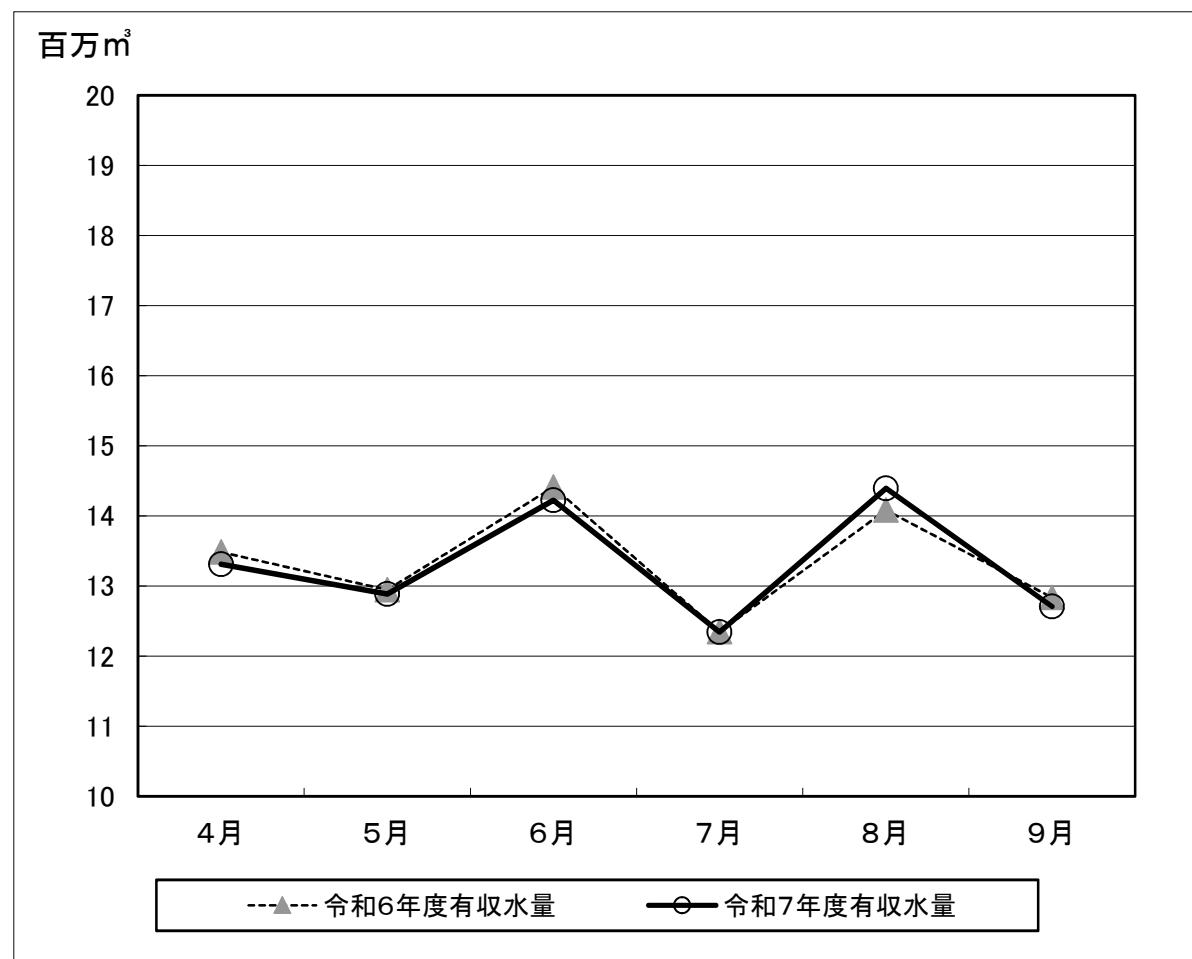
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別／項目	有収水量
令和 7年	m ³
4月	13,311,300
5月	12,885,684
6月	14,224,197
7月	12,342,797
8月	14,393,679
9月	12,705,906
合計	79,863,563
1日平均	436,413
前年同期1日平均	437,752



令和7年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収汚水量は、前年度同期（8,641万立方メートル）に比べ60万立方メートル（0.7パーセント）増加し、8,581万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期（114億6,452万円）に比べ7,344万円（0.6パーセント）減少し、113億9,108万円となりました。

また、当期総収益は、249億6,126万円となり、一方、当期総費用は、247億7,182万円となりました。

建設改良事業について、管きょでは、鳥羽第3導水きょ、烏丸丸太町幹線等の工事を継続実施しています。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センター汚泥焼却炉改築更新工事及び伏見水環境保全センター合流系最終ちんでん池設備工事等を継続実施しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)

損失の部	金額	利益の部	金額
	千円		千円
公共下水道事業費用	24,771,815	公共下水道事業収益	24,961,256
事業費用	23,045,863	事業収益	21,166,036
下水道維持費	1,893,364	下水道使用料	11,391,078
下水処理費	5,945,861	他会計負担金	9,485,731
業務費	693,213	その他事業収益	289,227
水洗便所普及費 対策費	76,975	事業外収益	3,795,220
総係費	446,058	受取利息	35,953
減価償却費	13,633,733	他会計負担金	12,159
資産減耗費	356,659	長期前受金 戻入益	3,635,450
事業外費用	1,725,952	雑収益	111,658
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,020,211		
雜支出	7,454		
消費税及び 地方消費税	698,287		
当期純利益	189,441		
合計	24,961,256	合計	24,961,256

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
固定資産	千円 633,652,098	固定負債	千円 226,073,649
有形固定資産	625,771,294	企業債	216,336,593
無形固定資産	5,398,663	企業債償還積立金	3,942,807
投資 その他の資産	2,482,141	リース債務	225,566
流动資産	20,197,759	PFI債務	2,564,702
現金預金	15,947,111	引当金	3,003,981
未収金	1,961,601	流动負債	16,187,013
貯蔵品	15,515	企業債	10,269,511
仮払金	4,734	企業債償還積立金	160,000
前払金	2,268,798	リース債務	64,144
		PFI債務	90,348
		未払金	5,280,020
		前受金	247,949
		預り金	75,041
		繰延収益	145,553,719
		長期前受金	145,553,719
		資本金	247,441,662
		剰余金	18,593,814
		資本剰余金	8,260,192
		利益剰余金	10,333,622
合計	653,849,857	合計	653,849,857

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、8,334億4,294万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、2,340億6,026万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和7年9月30日現在)

区分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
建設企業債	千円 222,146,641	千円 0	千円 6,597,147	千円 215,549,494
資本化費債	千円 15,173,484	千円 0	千円 14,067	千円 15,159,417
合計	千円 237,320,125	千円 0	千円 6,611,214	千円 230,708,911

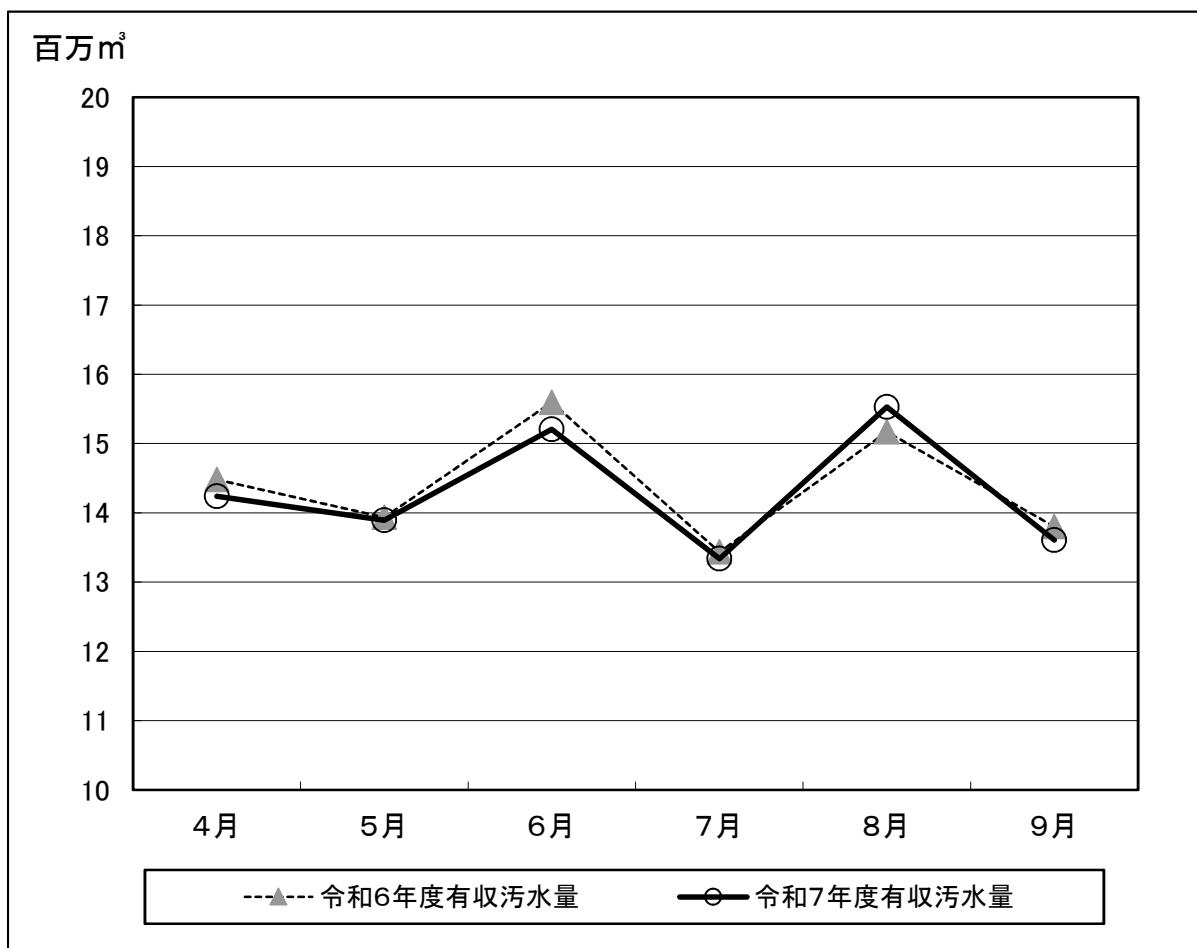
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別／項目	有収汚水量
令和 7年	m ³
4月	14,241,664
5月	13,892,174
6月	15,205,358
7月	13,336,551
8月	15,528,378
9月	13,606,212
合 計	85,810,337
1 日 平 均	468,909
前年同期 1 日平均	472,193



(行財政局総務部総務課)